

# 12月定例会

## 蔵本隆文議員

まちづくり協議会について

議員 ①お互いの活動状況が分かるようなシステムが必要ではないかと考えるが、どうか。

②各協議会の役員に高齢者が多い問題について、若者の参加の呼びかけをどう考えているのか。

③今後の方針性及び計画についてたずねる。

市長 ①市のホームページで、各協議会発行の広報紙や活動状況等の紹介、24地区のまちづくり協議会を小组赛に分けての意見交換会の開催により活動内容の情報共有や意見交換の場づくりに取り組んでいる。

②若者に参加を呼びかけることが必要であるが、参加するには時間的な制約もあり難しい。しかし参加した

いと思う事業を企画できるよう、サポートしていきたいたい。

③地域住民にまちづくり協議会を認知していただき、何らかの形で協議会に関わっていただくことで、人と人、人と地域がつながることが重要である。そのため住民とのキャッチボールのできる行政基盤をつくる必要があると考へている。

議員 各まちづくり協議会に、行政側でホームページを設置し、運営において、若い世代の協力を得ることで若い世代も参加できることで参考にし検討したい。

政策部長 そういうふたことが、当初の計画通り本当に変更なくできるのか。

市長 ①市長のホームページで、各協議会発行の広報紙や活動状況等の紹介、24地区のまちづくり協議会を小组赛に分けての意見交換会の開催により活動内容の情報共有や意見交換の場づくりに取り組んでいる。

②若者に参加を呼びかけることが必要であるが、参加するには時間的な制約もある



来年度予算編成について

## 藤井義明議員

議員 ①2025年問題をどう捉えているのか。

②財源が縮小していく中で2025年問題に対応できる長期的行政運営をどう考えているのか。

市長 ①高齢者に係る社会保障費は、現行の約2倍の負担になると見込んでおり、さらに今後老齢人口の支え手が減少するので、これまでと同様に財政健全化の取組みを継続し、将来の負担増を吸収し得る財政基盤を確立していく必要があると考えている。

議員 ②財政運営適正化計画において中期的な財政見通しを毎年ローリングしながら将来の收支の状況について把握している。将来負担を軽減する具体的な取組みとしては、市債残高の抑制や土地開発公社の借入金解消等を実施している。また、将来の財源不足に備えるための財政調整基金等を年次的に積み増していく。

議員 平成29年度に新しい最終処分場が供用開始の予定になっているが、予定通り供用開始ができるのか。

市長 現在候補地選定の作業を一つ一つ進めていくが、予定通り稼働できると考えている。

議員 計画通り供用開始ができる青色申告をしている個人等についても、取得価額の30%相当額の特別償却ができる等の税制優遇措置を受けられる。

市長 できるだけ早期に整備を行い、笠岡総合運動公園整備事業を完結させたいと考えている。具体的には実施設計を来年度に行い、その後整備工事を進めていきたいと考えている。

議員 太陽光発電設備について

議員 小規模ソーラー発電

設備を、道路もなく家屋の建設もできない状況の雑種地等に設置すると、固定資産税が50倍以上に上昇する場所もある。個人住宅への補助と同様、補助金を出する等の優遇を行ってはどうか。

市長 住宅用でない太陽光発電設備を設置した事業者については、既に税の軽減や優遇措置があり、固定価格買取制度の設備認定を受けた青色申告をしている個人等についても、取得価額の30%相当額の特別償却ができる等の税制優遇措置が受けられる。



議員 同報系デジタル防災行政無線について

議員 災害に強い安心・安全のまちづくりに具体的に